

令和4年度・学校評価結果

係名	目標設定	評点
教 務	①業務を見直し、授業・学びに集中できる環境整備をすすめる。	6
	②ICT機器を活用できる環境整備をさらに推進する。	6
生徒募集	①入試形態の見直しを進める。	2
	②目的意識・意欲高い生徒の増加を目指す。	5
教育研修	①本校の新体制に向けた、教員の意識と資質の向上に繋がる研修を企画・実施する	5
	②本校に必要な研修内容(新課程、生徒指導、ICT、発達障害など)を幅広く検討する	6
生徒指導	①本校教育方針の一つである『品性の育成』を実現するために、基本的な生活習慣が身に付いた若者を育成する。	5
	②生徒一人一人がマナー・ルールを守り、自主的・発展的思考のもとに人格の形成を目指せるように努める。	5
生徒会	① 生徒の自治の力を高め、生徒とともに一層活気に溢れる長野俊英高校を目指す。	8
	②地域や企業などから信頼され、集団におけるリーダー性を発揮できる人材を育てる。	3
進路指導	①多様な進学への対応及び国公立大学や難関私大への合格を目指す。	4
	②就職内定率100%を目指しつつ、多様な進路に対応する。	7
教育相談	①保護者・生徒・教師のより良い人間関係づくりを図る支援をする。	3
	②(担任が一人で背負うことなく)全職員との情報共有を円滑にする。	2
保健衛生	①感染症を広げない為に、保健委員会と協力する。	6
	②検診がスムーズに進むように工夫する。	3
人権教育	①人種差別、男女差別、LGBT、障がい者問題、いじめ問題のうち、いずれかに焦点を当てて学習する。	1
	②生徒が、相手の立場に立ってものごとを考えられるように成長するきっかけを提案する。	1
清掃営繕	①掃除の行き届いた気持ちの良い学校をつくる。	7
	②学校施設や用具を大切に利用し、落ち着いて生活できる環境を整える。	3
図書館運営	①図書委員と協力し、図書室の静かな読書環境を守る。	1
	②図書委員と協力し、推薦図書の紹介と、図書館だよりの発行を行う。	3
PTA	①三位一体の確立を浸透させるために、生徒、保護者、教職員が連携を取り、コロナ禍で活動も制限されるが、皆が参加しやすいPTA活動を作り上げる。	6
	②保護者一人一人が、PTA会員の自覚が持てるよう、活動内容の工夫と周知を図る。	5
同窓会	①コロナ禍で活動も制限されるが、状況に応じた組織運営を工夫し、役員会の定期的な開催ができるように努める。	-2
	②可能な範囲で新役員を補充しての組織の再構築と、規約の見直しも含めた会計の健全化を図る。	-2
キャリア教育	①教育活動全てを生徒が生き抜く力をつけるためのキャリア教育とする意識を全教職員で共有する。	1
	②総合的な探究の時間を核として各学年ごとに基礎的汎用能力が育くめる内容を企画実施し3年間のつながりを持つとともに、外部資源を積極的に活用し、個人の視点から社会の視点への思考力や判断力の育成を行う。	2
委員会		
企画運営	①「入試制度改革」を推進する。	5
	②各コース及び各系統の特色を明確化する。	4
教育課程	①2022新教育課程の方針を明確にし、共有する。	1
	②新課程の目標に相応しいカリキュラムをさらに研究し改善する。	1
ラウンジ運営	①アイコメディカルとの連携を密にする中で、運営が円滑にいくようにサポートする。	1
	②衛生面のマナーの呼びかけを徹底し、生徒自らきちんと利用できる様に指導していく。	1
学校保健	①感染症を広げない為に、保健委員会と協力する。	4
	②検診がスムーズに進むように工夫する。	2
衛生	①職員のストレス対処・メンタルヘルスに留意し、産業医からレクチャー、アドバイスを受ける。	0
	②校内見回りと共に快適な労働環境の整備に努める。	0
国際・地域交流	①コロナ禍で実施は困難かもしれないが、生徒会などと協力し、篠ノ井地区との交流を積極的に行う機会を設けながら地域活性化に貢献する。	2
	②コロナ禍で実施が困難な分、現在の情勢を踏まえながら海外研修プログラムの計画をより具体化し、周知する。	5